

[様式14]

(対象事業：ミュージアムを核とした地域文化資源の整備・活用に係わる事業)
事業名：滋賀の博物館・美術館ガイドマップ作成およびスタンプラリー実施事業

事業者名：滋賀県博物館協議会

連携事業館名：加盟87館

住所：滋賀県草津市下物町1091番地 滋賀県立琵琶湖博物館内

TEL：077-568-4811

FAX：077-568-4850

HPアドレス：kenhaku@lbm.go.jp

①施設概要

滋賀県博物館協議会は、県内の博物館、美術館、資料館などの相互の連携を図り、円滑な運営に資するとともに、博物館活動を通じて県民文化の振興に寄与することを目的として昭和57年（1982年）12月に設立された。毎年、講演会や実地研修の開催、情報紙発行、ホームページ運営、PR事業などを行い、現在、87館が加盟している。

②事業の意図目的

滋賀県内には特色ある展示、活動を行っている多くの博物館、美術館がある。滋賀県博物館協議会設立25周年を記念し、県内外の人たち、特に子どもたちが楽しみながら博物館・美術館を訪れ、歴史や民俗、文化財、優れた美術作品等に親しむ機会を提供することにより、地域の歴史や文化財、芸術作品等に対する理解を深め、県民文化の普及・向上に資する。同時に博物館・美術館への来館者の増加を図り、その活性化に資する。

③事業概要

滋賀県博物館協議会が平成19年12月に設立25周年を迎えることを機に、下記の3つの事業を実施する。

- 「淡海(おうみ)の博物館・美術館ガイドマップ」の作成
- 淡海の博物館・美術館スタンプラリー
- 加盟館紹介パネル等の製作および巡回パネル展示(地域ごとに22館で開催)

④事業の製作物及び報告書等

事業の製作物 その他

- ・「淡海の博物館・美術館ガイドマップ」
 - ・淡海の博物館・美術館スタンプラリー案内リーフレット兼応募用紙
 - ・加盟館の展示・活動等紹介パネル、加盟館の位置を示す地域ごとの地図パネル
- 作成した報告書等

⑤参加者状況

参加者人数 延べ 44,708人

内 訳 スタンプラリー参加者(第1回締切までの応募数) 185人
巡回パネル展示観覧者(実施22館の合計延べ人数) 44,523人

(1) 事業の実施状況について

■事業実施の趣旨・経過

滋賀県博物館協議会では、1982年（昭和57年）の創立以来、研修事業などの活動と並行して、5・10・15周年の節目ごとにガイドブックの出版など加盟館のPR活動を行い、20周年にはスタンプラリーを実施し、一定、各館の認知度向上にも寄与した。

一般に、広報活動を効率的に展開するためには、ある程度の「規模」が必要であるが、加盟館の7割以上は、館長も含めた専任の専門職員が3名以下の小規模館であり、大規模な県民向けアピールや、広報・営業活動を展開することも困難である。従って、連携組織という場を利用した効果的な広報活動の展開が有効であると考えている。

そこで25周年に際しては、滋賀県の博物館・美術館ガイドマップの作成とスタンプラリー、新たな試みとして、出版物とは異なる広報効果を期待し、各館の連携による「展示活動」（各館パネル作成と地域ごとの巡回展示）を実施することとした。

■滋賀県の博物館・美術館ガイドマップの作成とスタンプラリーの実施

ア 作成物

○「淡海（おうみ）の博物館・美術館ガイドマップ（A1版、2,500部）

- ・鉄道や主要道路の入った滋賀県地図に、加盟館の位置、名称、展示写真（シンボリックな展示物1点）等を表示し、裏面は各館の案内情報、外観写真等を一覧にしたもの。
- ・ガイドマップは、広報用として各加盟館、学校、公民館、児童館、文化施設等に配布するとともに、スタンプラリー応募者への参加賞として使用する。

○スタンプラリー応募用紙（A3版2つ折り、80,000部）

- ・スタンプラリーの参加方法、押印欄、対象となる博物館・美術館の所在地、概要、分野、休館日等の一覧および滋賀県地図上での各館の位置を示すリーフレットで、スタンプ台紙（応募用紙）としても使用。6館分のスタンプ押印後、切り取って応募する。各加盟館、学校、公民館、児童館、文化施設等に配布。

○スタンプ（20個）

- ・自館のスタンプを所有する館は当該スタンプを利用するが、所有しない20館については、約2cm角の館名のためのゴム印を作成し配布した。

イ スタンプラリー実施状況

○実施期間

平成19年度：平成19年11月1日～平成20年3月15日〔第1回応募締切〕
（平成20年度予定：～平成20年8月31日〔第2回応募締切〕）

○応募数（第1回締切時点）

応募数：185【内訳】滋賀県内：137、県外：48。 男性：88、女性：97

10 歳未満：24、10 代：22、20 代：7、30 代：29、40 代：31、
50 代：23、60 代：24、70 代：17、80 代：4、無回答：4

○抽選によるプレゼント（20 名）および参加賞は、加盟館 34 館から無償提供されたミュージアムグッズ（エコバッグ、ポスター、書籍、絵はがきセット、クリアファイル、下敷など）2、3 点と「淡海の博物館・美術館ガイドマップ」を送付。

■加盟館活動紹介パネルおよび地図パネルの作成と地域ごとの巡回展示

ア 作成物

○加盟館活動紹介パネル（B2 版、87 枚）

- ・各館の概要を説明する紹介文と、外観写真、展示物、活動風景などの写真を掲載したパネル

○加盟館の位置を地域別に示すパネル（B1 版、7 枚）

- ・県内を 7 地域に分け、地域ごとの加盟館の位置を地図上に示したパネル

イ 地域ごとの巡回展示

県内を県の地方機関等の管轄を参考に 7 地域に分け、11 月から 2 月までの 4 か月間、全体で 22 の加盟館において原則として 1 館 1 か月の展示期間で、各地域の加盟館を紹介するパネルを展示した。巡回展示の日程、館名、観覧者数（直接カウントしていない場合は、期間内の入場者数等または推計としている。）は以下の通り。

【大津地域】

・11 月 3 日（祝）～11 月 18 日（日）	滋賀県立近代美術館	2,988 人
・11 月 27 日（火）～12 月 24 日（月）	大津市歴史博物館	5,900 人
・2 月 9 日（土）～2 月 24 日（日）	伊香立「香の里史料館」	120 人

【湖南地域】

・11 月 3 日（祝）～11 月 25 日（日）	(財)佐川美術館	10,708 人
・12 月 1 日（土）～12 月 24 日（月）	草津市立草津宿街道交流館	817 人
・1 月 5 日（土）～1 月 27 日（日）	野洲市歴史民俗博物館	251 人
・2 月 2 日（土）～2 月 24 日（日）	びわ湖アートギャラリー	1,700 人

【甲賀地域】

・11 月 3 日（祝）～12 月 16 日（日）	滋賀県立陶芸の森陶芸館	5,109 人
・1 月 12 日（土）～1 月 27 日（日）	甲賀市水口歴史民俗資料館	2,600 人
・2 月 2 日（土）～2 月 24 日（日）	甲賀市土山歴史民俗資料館	198 人

【東近江地域】

・11 月 7 日（水）～12 月 2 日（日）	東近江市能登川博物館	760 人
・12 月 8 日（土）～12 月 27 日（木）	西堀榮三郎記念探検の殿堂	282 人
・1 月 5 日（土）～1 月 27 日（日）	滋賀県立安土城考古博物館	1,901 人
・2 月 2 日（土）～2 月 24 日（日）	(財)日登美美術館	500 人

【湖東地域】

・11月3日（祝）～11月25日（日）	愛知川びんてまりの館	1,365人
・12月1日（土）～12月24日（月）	多賀の自然と文化の館	904人

【湖北地域】

・11月3日（祝）～12月2日（日）	高月町立観音の里歴史民俗資料館	959人
・12月8日（土）～1月14日（月）	琵琶湖水鳥・湿地センター	6,041人

【湖西地域】

・11月3日（祝）～11月25日（日）	高島歴史民俗資料館	152人
・12月1日（土）～12月24日（月）	朽木資料館	63人
・1月5日（土）～1月27日（日）	マキノ資料館	369人
・2月2日（土）～2月24日（日）	県立朽木いきものふれあいの里	836人

巡回展示を実施した加盟館は、館全体の規模も展示巡回時における余裕施設の状況も様々であったが、各館の状況に応じ、展示室内での展開、玄関ロビーや廊下の壁、休憩室の壁など、各館の構造に合わせて展示空間を工夫していた。

なお、3月1日からは、全てのパネルを一堂に集める全県総合展示を県立琵琶湖博物館で実施している。ここでは、中央には航空写真を利用して加盟館の分布を視覚的に訴える工夫をし、パネルのほか、各館のパンフレット類やいくつかの加盟館から募った収蔵資料等を展示するとともに、土・日曜日を中心に加盟館が日替わりで講座や体験教室などのワークショップも実施している。

（2）地域との連携について

本事業は、滋賀県博物館協議会に加盟し、県内各地域でそれぞれに活動を展開している博物館、美術館等の協働により実施できたものであり、今回の事業実施により各館の連携が一層強化されたものと考えている。特に、地域ごとに開催した巡回パネル展示では、地域の核となる博物館・美術館において当該地域内にある施設の活動を相互に紹介したことで地域内の連携がさらに強化された。

また、地域の人々と博物館・美術館とのかかわりにおいては、先ず、地域の人々が実際に各地域の施設に足を運んでもらうことが必要であり、それを誘導する仕掛けとして次のような工夫を行い、一定の成果があったと考えている。

○巡回展示の実施

加盟館の活動を1館ずつ紹介する展示パネルを使って、県域を7つに分け、各地域ごとに活動分野の異なる複数館で巡回展示を行った。これは、行動パターンの異なる様々な立場の県民の目に触れるようにすることを目指したものである。

○利用者に地理的分布を意識させることを重視したこと

加盟館の分布を一望できる地図ポスター（ガイドマップ）は、身近なところに数多くの施設が存在することが一目でわかり、それが意外なこととして受け止められ、「驚き」を誘発することによって新たな博物館・美術館を訪れる動機付けともなる。

○展示活動とスタンプラリーとの同時開催

展示活動とスタンプラリーとの同時開催により、博物館・美術館の紹介展示をその場限りのものに終わらせず、実際の来館に結びつけることができ、また、スタンプラリーの台紙は、地図ポスターに替わる携帯用案内地図としての機能も果たす。

(3) 成果物について

(1) に含む。

(4) 参加者の反応

ア スタンプラリー

県内にこれほど多くの博物館・美術館があることに驚き、スタンプラリーにより普段行かないような施設を訪れるきっかけになったと喜ばれている。また、応募用紙を学校を通じて配布された児童が、家族といっしょに回ったケースも多く、親子で楽しみながら学べたと好評であった。ただ、応募用紙のスペースの制約から開館時間や観覧料の記載がなかったことに対して少々不満という声もあった。

イ 巡回パネル展示

地域内の身近なところに様々な博物館があることや、地域の著名な画家の作品があることを知り、新たな発見をし、実際に訪れてみたいとの声が多かった。地域内の施設だけでなく隣接する地域や全館の紹介パネル展示を希望する意見もあった。

(5) 芸術拠点形成事業を実施したことによる効果

滋賀の博物館・美術館ガイドマップを作成し、巡回パネル展示とスタンプラリーを並行して実施したことにより、地域の歴史、文化、自然や芸術等資源の発信拠点となる博物館の存在とその活動を県内外に強くアピールすることができた。

スタンプラリー参加者や巡回パネル展見学者の多くが、滋賀県内にこれほど多くの博物館・美術館があることに驚き、特にスタンプラリーでは、県内の全ての小中学校にガイドマップと応募用紙を送付したこともあって、子どもたちが家族とともに博物館・美術館を訪れるケースも多く、楽しみながら地域の歴史や民俗、文化財、優れた美術作品等に親しむ機会を提供することができた。

各加盟館に対しては、今回の事業の分担や協力を通じて主体的な参加意識を高めることができ、加盟館同士の今後の連携に役立つ意識形成ができたと考えられる。

地域の博物館施設が連携するための組織は多くの地域にあるが、連携活動、特に広報活動として展示事業を実施している事例は少ない。博物館・美術館ガイドマップ作成とスタンプラリーおよび巡回パネル展示を組み合わせるモデル的に実施した今回の事業の成果は、これらの組織においても応用可能であり、それぞれの地域の特性、状況に合わせて形を変えて展開していくことも期待できる。

(6) 新聞記事等
○新聞記事

スタンプラリー 県内87館で実施

県博物館協議会

県博物館協議会が設立25周年を記念し、「淡海の博物館・美術館スタンプラリー」を実施している。加盟87館の特色ある展示や活動に親しんでもらうのが狙い。各館をパネルで紹介する巡回展も開いている。

スタンプラリーは、応募用紙に県内の6館のスタンプを集めて応募する。締め切りは3月15日と8月31日の2回。抽選で各回20人に近江の麻ハンカチ、浮世絵はがきセット、ナマズのぬいぐるみなど各館のミュージアムグッズを、応募者全員には県内の美術館・博物館マップを贈る。

用紙は各館に置いてあり、ホームページ（http://www.idm.go.jp/kenhaku/）からもダウンロードできる。

また、各館の特色など最新情報を写真入りで紹介するパネル展も巡回中。2月までは県内を7地域に分けて、各地域にある博物館や資料館で開く。3月1日から4月13日まで、草津市下物町の県立琵琶湖博物館に全87館のパネルを一堂に展示する。

問い合わせは、琵琶湖

朝日新聞（滋賀版）平成20年2月6日 朝刊 ○○面

県内の博物館紹介

琵琶湖博物館でパネル展

草津

県内の博二施設で開催され、今回のパネルで紹介する「淡海の博物館」の博物館・美術館一が一日、草津市下物町の県立琵琶湖博物館企画展示室で始まった。

四月十三日まで、入場無料。

パネルは昨年十月までに、各館がそれぞれ一枚ずつ作製。施設の概要や見どころを写真入りで説明している。ミニチュアのSLや、朝鮮通信使瓦人形なども出展されている。

県内の博物館施設八十七館でつくる「県博物館協議会」の設立二十五周年を記念する展示会。昨年十一月から県内の二十



各施設が作製した説明パネル＝草津市下物町の県立琵琶湖博物館で

会場となる。琵琶湖博物館と協議会主催。月曜休館。問い合わせは博物館＝電077（568）4811＝へ。（中村禎一郎）

（参考）中日新聞（滋賀版）平成20年3月2日 朝刊

同様の新聞記事 京都新聞（滋賀版）平成20年3月2日 朝刊
あいあいA I 滋賀（朝日新聞・PR版）平成20年3月19日